

平成22年度教育委員会事務点検評価(平成21年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

整理番号 10

事務事業の名称	博物館企画展事業		担当部課	教育委員会 生涯学習部 博物館		
			電話番号	04-2955-3804		
実施期間	平成3年度 ~					
総合振興計画における位置づけ	5章	人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H21~23)事業名	個別計画等の名称		
	1節	生涯学習の振興				
	1項	生涯学習の推進				
	2目	生涯学習の機会や場の拡充				
実施根拠	博物館法および狭山市立博物館条例					
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務+自治事務					
事業開始の背景等	平成3年に開館し狭山市の歴史・文化・自然等を広く啓蒙するとともに、来館者の教養を高めるために実施している。					

2 事務事業の目的・内容

目的	生涯学習の一拠点として、狭山市の歴史・文化・自然等を広く紹介するとともに、市民の学習活動を支援するため、常設展示を補うものとして開催する。	
対象	一般	
活動内容	企画展は、年3回程実施している。子どもたちも楽しめる「鉄道模型展」や「収蔵美術品展」、さらに女性の文化をテーマとした「女性を彩る服飾と文化」の企画展を開催した。	
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	博物館協議会からの提言に基づく「狭山らしさ」に基軸をおいた展示として開催することができた。
環境配慮	企画展などの展示パネル・展示造作などは、再利用を図った。	
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他()	

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	目標値の根拠・考え方
(活動状況指標)	企画展開催日数	目標値	日	185	186	178	181	過去5年間の実績をもとに設定
		実績値		178	183	141		
		達成率		96.2%	98.4%	79.2%		
(成果指標)	企画展開催時の入館者数	目標値	人	35,804	37,283	37,169	34,958	過去5年間の実績をもとに設定
		実績値		35,665	29,818	53,028		
		達成率		99.6%	80.0%	142.7%		

4 事業費

		区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
経費	直接費	予算額	千円	4,200	4,000	4,000	3,000
		決算額	千円	4,519	3,877	3,885	
		財源内訳	千円				
		国県支出金	千円				
		その他特定財源	千円				
		一般財源	千円	4,519	3,877	3,885	
	人件費	従事職員数	人	1.09	1.09	1.09	
人件費(従事職員数×平均給与)		千円	9,771	10,000	10,023		
	事業費計(直接費決算額+人件費)		千円	14,290	13,877	13,908	
効率性指標	指標名	企画展開催時入館者数	人	35,665	29,818	53,028	1単位当たりの経費
	単位コスト	入館者1人当たりの経費	円	401	465	262	

5 事務事業の評価

第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
必要性	・目的の妥当性 ・市民ニーズへの対応 ・市が関与する必要性 ・市が負担する必要性 など	4	アンケートの実施により、子どもから大人まで様々なニーズに対応している。
		4	
有効性	・活動目標の達成度 ・成果の向上 ・上位施策への貢献度 ・市民サービスの向上 など	4	地域の企業や学校と連携した展示や子ども達に人気の展示内容としたため入館者の増となった。
		3	
効率性	・手段の最適性 ・コスト効率の向上 ・受益者負担の適正化 ・執行体制の効率化 など	4	展示業務委託の精査、ボランティアの参加、執行体制の効率化により、コスト削減が図られた。
		4	
		< 5段階評価 > 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
今後の方向性	博物館の目的を達成するため、入館者増やコスト削減についてさらに努力することが大切であるが、研究活動なども地道に進め、市民に還元する必要もある。		

6 その他(学識経験者の意見等)

整理番号9と同様に、コスト削減に非常に努力している。博物館相互のみならず、大学等との連携も視野に入れ、様々な機関との連携・協力関係を作り、事業の工夫が望まれる。